

地域社会学会会報

No.247 2025.9.27

地域社会学会事務局 Office of Japan Association of Regional and Community Studies
〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 横浜国立大学都市科学部
齊藤麻人研究室内

TEL 045-339-3291(直) FAX 045-339-3291 郵便振替 地域社会学会 00150-2-790728
E-mail jarcs.office@gmail.com URL <http://jarcs.sakura.ne.jp/>

◆..... 〈 会報 247 号のトピック 〉◆

- 1) 2025年度の会費納入をお願いします。2023年度よりSMOOSYによるクレジットカード決済を原則としています。振込用紙の送付は行っておりませんので、サイトよりご確認をお願いします。

目 次

1. 理事会からの報告
2. 研究委員会からの報告
3. 編集委員会からの報告
4. 国際交流委員会からの報告
5. 事務局からの報告
6. 会員異動
7. 理事会のご案内

2025年度第2回研究例会のご案内

日時 2025年 10月 11日 (土) 13:30~17:00

会場 立教大学池袋キャンパス 15号館 (マキムホール) 2階 M202教室教室
(対面と ZOOMによるハイフレックス形式)

※アクセス方法等は、開催 2日前をめどに、会員メーリングリストで配信します。

第1報告：「惑星的に地域を考えるとということ：いまふたたび費孝通と対話して」
報告者 平井太郎 (弘前大学)

第2報告：「企業城下町において周辺化された存在としての人々や場所：日立市で維持される共助的地域拠点を事例として」
報告者 伊藤雅一 (茨城大学)、大和田奈津 (千葉大学大学院)、酒井晴香 (広島大学)

2. オンラインでの参加のみなさま

<事前の準備のお願い>

- ◆ 事前に Zoom のアプリをインストールしておいてください。インストール済みの方は、「アップデートを確認」で最新バージョンに更新しておいてください。
- ◆ Zoom のアクセス方法等は、開催 2 日程度前をめどに、会員メーリングリストで配信します。
- ◆ Zoom のリンクやミーティング ID、パスワードは、他人に教えないでください。

<当日のお願い>

- ◆ 待機室を設定している場合、所定時刻の 5 分ほど前に設定を解除して入室できるようにします。
- ◆ ただし、直前の打ち合わせが長引くなどで、待機室の設定解除が遅れることもあります。その場合は待機室でお待ちください。
- ◆ ミーティングルームに入ったら、司会者と報告者以外は、マイクは「ミュート」にして、発言時のみ「ミュート解除」にしてください。ビデオはオンでもオフでも結構です。適切な操作がなされていない場合には、主催者がミュートにするなどの操作をすることがあります。
- ◆ 画面に表示する氏名は、「フルネーム（所属）」に変更しておいてください。
- ◆ 研究例会は、研究委員会が記録用にレコーディングします。接続・参加をもってレコーディングに承諾いただいたものとみなします。研究委員会以外の方（報告者も含めて）が Zoom の画面を撮影したり、録画・録音したりすることは禁じます。

<配布資料について>

- ◆ 報告者から当日配布資料があるときは、Zoom のチャット機能を利用して配布します。
- ◆ 配布のタイミングは、各報告の開始時と開始 10 分後の 2 回です。

<質問・発言について>

- ◆ 以下のいずれかの方法でお願いいたします。
 - ①Zoom の「リアクション」にある「手を挙げる」を表示させる。
 - ②Zoom のチャットに、質問内容を書き込む
 - ③Zoom のチャットに、質問がある旨を書き込む

<Zoom 終了後の交流時間の取りやめについて>

- ◆ オンライン開催では、研究例会の終了後もしばらく Zoom を開放し、報告者・参加者の交流の時間としてきましたが、今回はハイフレックス開催のため片付け等の都合から、Zoom での交流時間は設けないこととさせていただきます。

<当日の Zoom 操作に関する相談窓口>

- ◆ 当日、「接続できない」などの不測の事態に備えて、Zoom 操作に関する相談窓口としてサポートセンターを開設します。メールでご連絡ください。

当日サポートセンターの連絡先

- ◇ メールアドレス saito-asato-nb[アット] ynu.ac.jp [アット]を@にしてください。
- ◇ 当日配布資料の再配布はありません。

<問い合わせ先>

- ◆ 当日の Zoom 操作に関する以外、研究委員長（室井研二、muroi.kenji.w9 [アット] f.mail.nagoya-u.ac.jp) までメールでお問い合わせください。[アット]を@にしてください。

1. 理事会からの報告

2025年度地域社会学会第1回理事会は、2025年7月19日（土）10時半～13時まで名古屋大学で行われました。出席者は以下の通りです（敬称略）。

小山弘美、齊藤麻人、阪口毅、佐藤洋子、清水洋行、武田俊輔、野坂真、平井太郎、藤井和佐、町村敬志、松宮朝、三浦倫平、室井研二、望月美希、矢部拓也、山口博史、渡邊隼

理事会では報告事項6件、審議事項7件が議論されました。

（齊藤麻人）

2. 研究委員会からの報告

7月19日（日）に2025年度第1回研究例会が名古屋大学にてハイブリット形式で開催されました。前半は、研究委員会を代表して室井が「環境変動適応と地域社会」をテーマとした1年間の研究活動の総括を行いました。また、大会シンポジウムで討論者を担当した阪口毅会員、望月美希会員からも大会シンポジウムの成果についてコメントしてもらいました。後半は、昨年度の地域社会学会賞受賞著作である『芦別 炭鉱（ヤマ）とマチの社会史』と地域社会学のかかわりについて、著者である嶋崎尚子会員、西城戸誠会員に報告頂きました。その概要については『地域社会学会ジャーナル』第22号をご参照ください。但し、後半の報告については次号の年報の「自著を語る」で紹介されるので、報告論文のジャーナルへの掲載は見合わせました。宜しくご了承ください。

研究委員会では、7月17日（木）に第2回の委員会をオンラインで開催し、ジャーナル編集業務の改善や、今後の研究例会、大会シンポジウムの内容や人選について検討しました。

今年度第2回目の研究例会は10月11日（日）に立教大学で開催します（ハイブリッド開催）。平井太郎会員による「惑星的に地域を考えるとということ：いまふたたび費孝通と対話して」、若手ワークショップ日立班のメンバーによる「企業城下町において周辺化された存在としての人々や場所：日立市で維持される共助的地域拠点事例として」の2報告を予定しています。多くのおみなさまのご参加をお待ちしております。

（室井 研二）

3. 編集委員会からの報告

本年度第1回編集委員会を7月3日に開催しました。年報38集の編集作業の手順やスケジュールの確認、書評対象図書や執筆者の選定に関する検討を行いました。

（松宮 朝）

4. 国際交流委員会からの報告

次回のRC21 Conferenceがオーストリアのウィーンで2026年7月20—22日に開催されます。現在、10月6日の締め切りでセッションの提案が募集されています。この後も参加申し込みなどの続報が掲示されますので、詳しくはHPでご確認ください。（<https://www.rc21.org/en/2026-rc21-conference-in-vienna/>）

国際交流委員会では、国際大会への参加経験などをジャーナル掲載しています。執筆可能な方は国際交流委員までご連絡ください。。

（小山弘美）

5. 事務局からの報告とお願い

（1）会費納入状況

2025年9月24日時点の会員は403名（一般338名、院生41名、終身24名）で、2025年度の会費納入率は61%でした。

（2）会報246号・ジャーナルNo.21の発行

地域社会学会会報246号と地域社会学会ジャーナルNo.21の学会HP上で発行されました。

(3) 会費納入のお願い

2025 年度会費につきましては、7 月 1 日付で納付のご案内を发出しています。**引き続き会費納入にご協力をお願いします。**

(4) 会員の研究成果情報の提供のお願い

2024 年以降の研究成果に関する情報を募集しています。用紙（地域社会学会 WEB サイトからダウンロードできます）の情報を、事務局宛のメールでお送りください。ご協力よろしくお願ひします。万一、情報を提供したのに掲載されていないなどの手違いがございましたら、事務局まで御一報くださいますようお願いいたします。

(齊藤麻人)

6. 会員異動

<新入会員>

平井康葉（株式会社Lupinus）

水野遼太郎（京都大学大学院）：過疎地域で生まれ育った若者の人生経験／地方世界における生業の継承と再編成

熊谷寿二（放送大学大学院）：都市社会学、アーバニズム

向はるか（広島大学大学院）：農山村部・都市近郊部の新旧住民の災害対応ならびに防災対策

<退会会員>

檜田美雄

内藤潔

野村恭代

<除籍会員>

石井克生

井関崇博

西田芳正

星野潔

(以上、2025 年 7 月 19 日理事会で承認)

7. 理事会のご案内

第 2 回理事会

日時 10 月 12 日（日）午後 3 時～

場所 オンライン